

魅力あふれる“すみだ”をあなたも歩いてみませんか みんなで楽しめる「まち歩きコース」をご紹介します

東京スカイツリーの開業を契機に、“活力あるすみだ”をつくるため、区では、昨年11月～来年3月をまちびらき期間とし、「国際観光都市すみだ」の魅力を発信する「すみだ観光まちびらき」を展開しています。特に、年間2500万人以上と想定される来街者に区内を回遊していただくため、“まち

歩き観光”へ積極的に取り組んでおり、墨田区観光協会とともに「まち歩きコース」を設定しています。この度、これまでの「まち歩きコース」に加え、すみだの魅力の一つである“ものづくり”の体験を組み合わせたコースなども新たに設定しました。そこで、これらコースの一部を“おとな”“なかま”“ふ

たり”“かぞく”といったテーマ別にご紹介します。まちを歩いて“すみだ”を知ることは、観光客にすみだの魅力を伝えるという“おもてなしの心”にもつながります。区民の皆さんも、この春、“まち歩き”をしてみませんか。
【問合せ】観光課観光担当 ☎5608-6500

すみだの奥深い名所をもっと知りたい！

“おとな”歩き

①コース 開拓史と元禄文化を辿る 両国北コース

ガイド付き

歴史ある神社や風情漂う庭園のほか、浮世絵で世界に知られる葛飾北斎のゆかりの地や、点在している相撲部屋など、多方面からお江戸両国を発見するコースです。

■都立横網町公園（横網2-3-25）

関東大震災の被災者が集中した陸軍被服廠跡地に、平和への祈りを込めて造られました。公園内には、震災や東京大空襲の犠牲となった方が合祀されている「東京都慰霊堂」や、「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」などがあります。この碑の上部の花壇には、毎年、都内の小・中学生、高校生がデザインした画に基づいて植えられた四季折々の花々が絶えず咲き誇っています。



「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」の花壇

楽しい仲間でもワイワイ食べて、歩こう！

“なかま”歩き

②コース 勝負運急上昇！両国パワースポットご利益巡り

癒しや元気をもらえ、自然の持つ力がみなぎる特別な場所“パワースポット”の聖地ともいわれる両国で、地元の人しか知らないパワースポットを巡るコースです。

■回向院（両国2-8-10）

明暦3年(1657年)に発生した「明暦の大火」で亡くなった犠牲者を弔うために建てられました。境内には、歴代相撲年寄(親方)の慰霊のための力家や、鼠小僧次郎吉の墓などがあります。長年捕まらなかった次郎吉にあやかり、その墓石を削ってお守りにすることで強運のご利益を授かることができるといわれています。また、受験生の合格祈願にもご利益があるそうです。



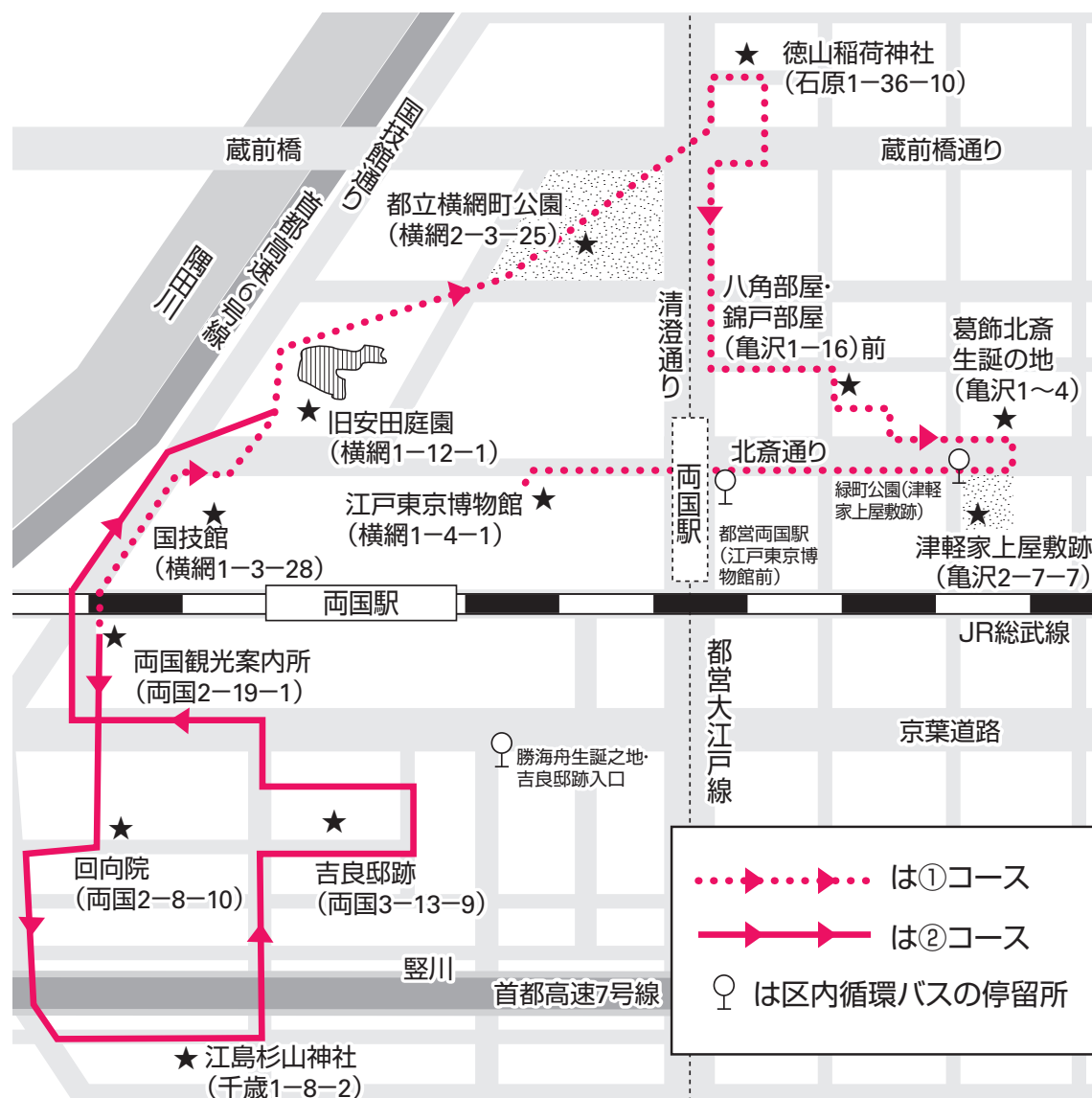
鼠小僧次郎吉の墓

■旧安田庭園（横網1-12-1）

庭園の名称は、明治時代にこの庭園を所有していた安田善次郎氏(安田財閥の祖)に由来しています。元禄年間に造られた大名庭園ですが、都内のほかの大名庭園(浜離宮恩賜庭園、小石川後楽園など)ほど広大ではありません。しかし、「心」の字を模した心字池や、両国公会堂などを、園内のベンチに座りながら眺めていると、都会の喧騒を忘れることができる、癒しスポットです。



庭園内にある駒止井戸(左)、両国公会堂と心字池(右)



■江島杉山神社（千歳1-8-2）

明治時代に、江の島弁財天を祀った江島神社と鍼術の神様といわれる杉山検校を祀った杉山神社を合祀したのが江島杉山神社です。ここには、杉山検校が鍼術の修行をした江の島弁財天の岩屋を模したものがあり、この中には、芸能上達に通じる神様として有名な宇賀神(弁財天)などが祀られています。また、敷地内には、杉山検校の業績を讃えて作られた、世界で一つしかない点字による碑「杉山検校頌徳碑」もあります。



「杉山検校頌徳碑」(左)、岩屋(右)

*2・3面で紹介しているコースのほかにも、多くのコースがありますので、詳細は「すみだ観光まちびらき」のホームページをご覧ください。また、区内で開催されるイベント情報や、すみだの見所などの情報も掲載されています。*すみだのまち歩きをもっと楽しくする冊子「すみだ街歩きガイド」は、吾妻橋観光案内所(吾妻橋1-16-1)と両国観光案内所(両国2-19-1)で購入できます。

ロマンティックに大切な人とまち歩き！

“ふたり”歩き

③コース 墨堤の桜を愛で、花とタワーのビュースポットを探る ガイド付き

桜の名所として親しまれている墨堤と、東京スカイツリービュースポットを回るコースです。

■牛嶋神社（向島1-4-5）

貞観年間ごろから続く本所の総鎮守の神社です。大正12年の関東大震災で焼失しましたが、昭和7年に現在の場所に再建されました。境内には、自分の悪い部分と同じ部分をなでることで病気が治るといわれる撫牛や、大きい鳥居の左右に小さい鳥居を組み合わせた「三輪鳥居」があります。また、境内から東京スカイツリーを望むことができ、タワーと撫牛や鳥居を1枚の写真に収めることができます。



全国でも珍しい三輪鳥居(左)、牛嶋神社から望む東京スカイツリー(右)

子どもも喜び！家族でワクワクまち歩き

“かぞく”歩き

④コース 向島文化と江戸木目込人形製作体験

由緒ある寺社や花街で向島文化にふれた後、江戸木目込人形の製作体験をします。製作するのは福来朗かペン立てを選ぶことができ、家族みんなで楽しめるコースです。

■三田神社（向島2-5-17）

近隣の長命寺、弘福寺などとともに「隅田川七福神」の一社であり、恵比寿神・大国神として有名です。三田神社には、名前のほかにも、「三角鳥居」「三つが灯籠」「三越のライオンの像」などといった「三」にちなんだものがたくさんあります。また、境内にあるお稲荷さんは、「三田のコンコンさん」として親しまれていて、目尻の下がった温和でかわい表情は一見の価値があります。



■塚田工房（向島2-11-7）

塚田詠春さんは、桐の粉に糊を混ぜて作った型に筋彫りを入れ、布をはめ込む「江戸木目込人形」を製作する技術者として、「すみだマイスター」に認定されています。人形づくりを職人さんに直接教えてもらいながら、ものづくりの楽しさを体験しませんか。*塚田工房での伝統工芸体験は申込みが必要ですので、開催日時等の詳細は墨田区観光協会までお問い合わせください。

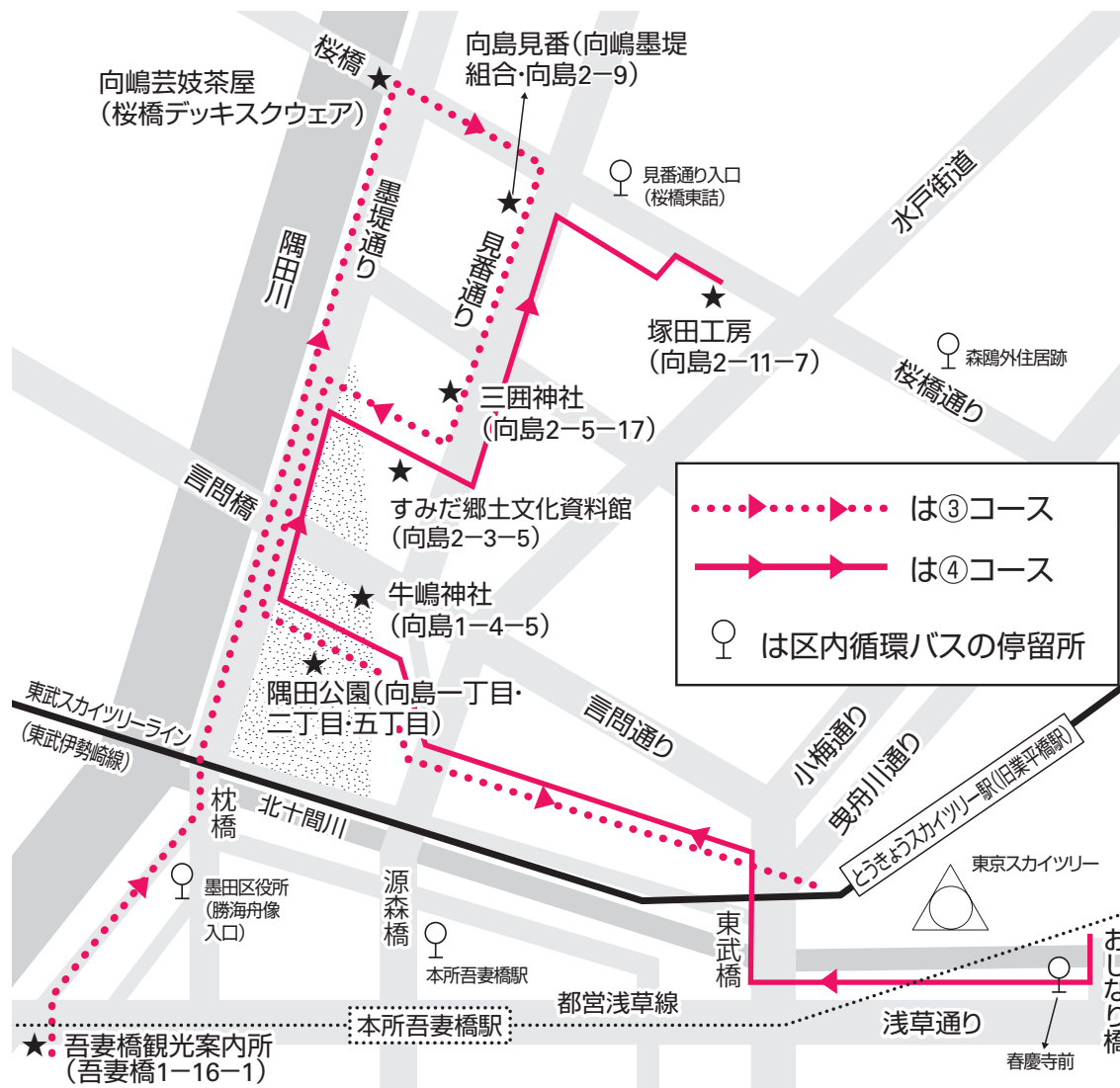


■墨堤の桜（墨堤通り、桜橋、向嶋芸妓茶屋）

墨堤の桜は、8代将軍徳川吉宗の命により植えられたといわれていますが、「墨堤植桜之碑」には、4代将軍徳川家綱の命で植えたのが始まりであると書かれています。その後、関東大震災や東京大空襲などで存続の危機に直面しましたが、多くの方の努力で、今なお桜の名所であり続けています。また、桜の開花期間中に開催予定の「墨堤さくらまつり」では、桜橋で太鼓演奏などのイベントが行われるほか、桜橋デッキスクウェアに向嶋芸妓茶屋が来店されるなど、多くの花見客を楽しませてくれます。



すみだの春の風物詩「墨堤さくらまつり」



ガイド付きコースの申込方法など

【開催日時】▶①コース＝毎週土・日曜日、祝日、国技館での大相撲開催中の午前10時半～午後1時半～ ▶③コース＝4月7日(土)午前10時～【集合場所】▶①コース＝両国観光案内所 ▶③コース＝吾妻橋観光案内所【定員】▶①コース＝各回先着15人 ▶③コース＝15人(抽選)【費用】①・③コース＝各500円【申込み】希望コース、希望日時、代表者の住所・氏名・電話番号、参加人数を電話または、ファクスで▶①コース＝参加希望日までに ▶③コース＝4月4日までに 墨田区観光協会 ☎5608-6951・☎5608-7130へ *「すみだ観光まちびらき」のホームページからも申込みができます。

☎＝電話 ☎＝ファクス ✉＝Eメール 🌐＝ホームページアドレス